

ピカイチ先生の
生活経営セミナー

2017年02月

仕組で稼ぐ家計簿
(⑧ 収支を評価する)

ネクストライフ・コンサルティング

〒975-0038

福島県南相馬市原町区日の出町167-3

info@next-life-consult.com

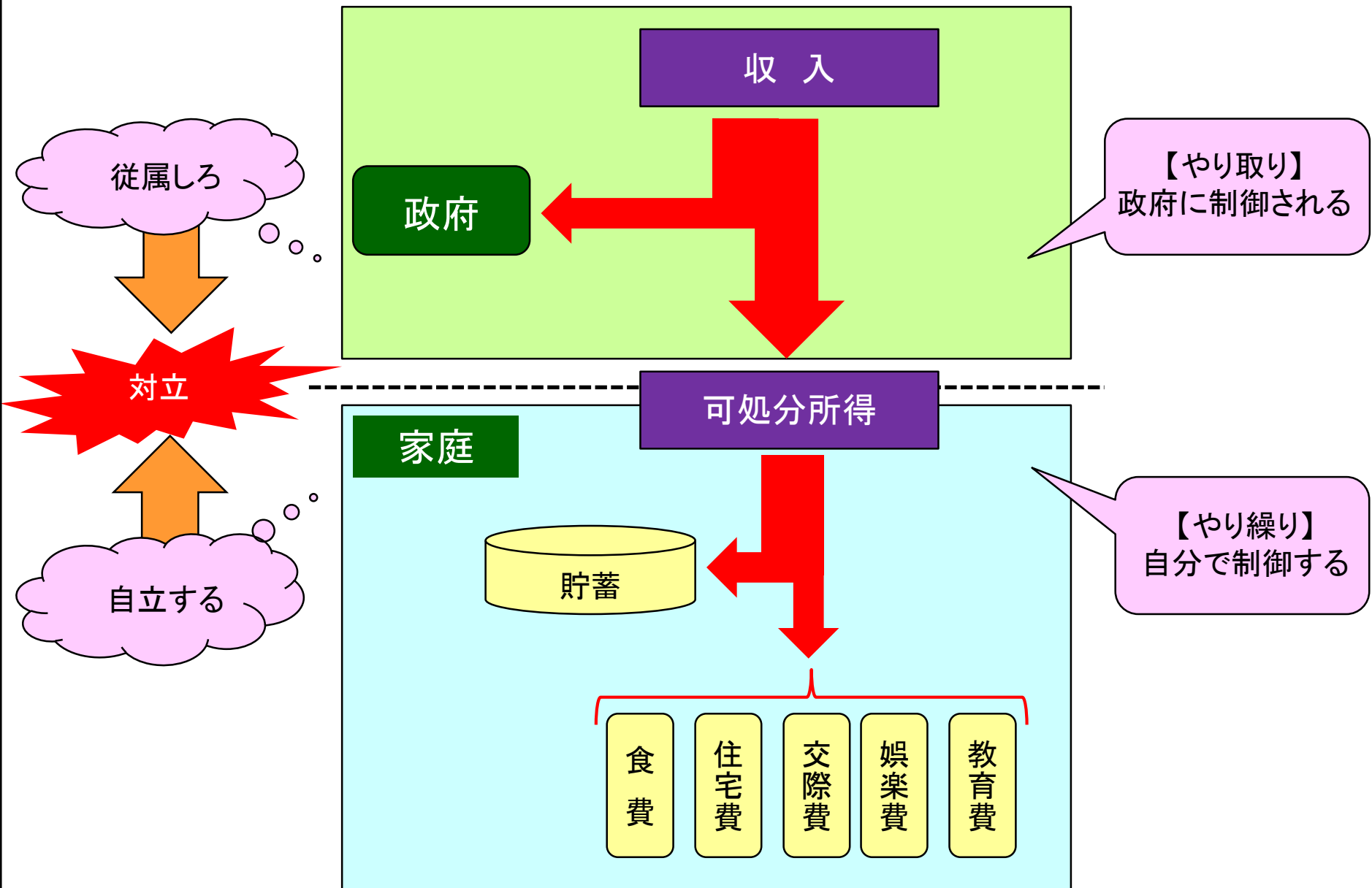


ピカイチ先生

ピカイチ先生

検索

「やり繰り」と「やり取り」



「やり取り」を制御する

名称	例	課金額の評価	家庭の制御手段
公共料金	電気・水道・ガス	【応益負担】 使っただけ	節約
税金	所得税・地方税	【応能負担】 払えるだけ	所得税控除の拡大
社会保険料	年金・健康・介護	【??】 稼いだだけ	× 収入を減らす ○ 収入の 評価額 を減らす

【リスク管理】 家庭でリスクを制御できるか？

- ：長生きリスク ← いつ起こるか予測可能(準備できる)
- ×：健康リスク ← 明日起こるかも(準備できない)
- ×：介護リスク ← 明日起こるかも(準備できない)

収入の「評価額」を制御する

● 社会保険料の課税評価額

所得の種類	収入の評価額
給与所得	[名目賃金]
事業所得	[売上] - [経費]
配当所得	[配当額] × 20% 源泉徴収税で 不算入

生活費と
密着できれば...

家庭で
制御するには？

所得の分散

自分年金とは？

- **保険とは？**

助け合い ⇒ 多くの人が損をする

- **確定拠出型年金とは？**

長期の資産運用 ⇒ 自己責任

誰から
学ぶの？

自分で
制御する

自分年金

金融投資

自己投資

事業投資

確定給付なしの 65歳の個人年金受給者の平均年金収入変化率

金融業界の甘いことばに乗せられて、確定拠出型年金に切り替えてしまったアメリカ国民は、これだけ金融市場が活況でも、延々と年金給付額を減少するという悲惨な環境にある。

確定拠出型年金は、金融機関の儲けは増やすが、年金受給額は減らすのだ。

暦年	平均年金収入の 前年比変化
2006	1.3%
2007	4.4%
2008	▲2.2%
2009	▲8.7%
2010	▲2.7%
2011	▲8.4%
2012	▲11.5%
2013	9.1%
2014	▲5.7%
2015	▲3.1%
2016	▲14.8%

『米中地獄の道行き 大国主義の悲惨な末路』(増田 悦佐)より

個人が自衛する道は、大きく分けて2つ

政治や経済の大きな枠組みを動かさないときに、個人としてどういう対抗策があるのかについて、真剣に考えてみた。大ざっぱに言って、やっぱり2つだなという結論に達した。

1つは少額でもいいから、とにかく**金(きん)**を買って、買っぱなしにして、絶対売らないでいること。金は万一の際に換金できて、しかも換金したいときの価値が非常に安定している。(中略)

もう1つは、(中略)江戸時代並みにいろいろ趣味に凝って、その凝った趣味の中で、人に教えられて、教えた相手から**謝礼**をもらえるぐらいに技量を磨いた趣味を1つか2つ持つべきだということだ。

『米中地獄の道行き 大国主義の悲惨な末路』(増田 悦佐)より

趣味の金銭化に真剣に取り組むべし

江戸時代には、早々と引退してしまう人もいる反面、高齢になっても現役で働き続ける人も増えていた時代だ。その現役で働き続ける人たちの多くは、決して無理な力仕事なんかしていたわけじゃなくて、たとえば小唄のお師匠さんをやるだとか、手習いの先生をやるといったことを、いろいろな場所でやっていた。

江戸時代型社会のすばらしさは、高齢化の消費抑制効果をじつに巧みに緩和したことにある。現代社会では「高齢化したら一方的に貯金が出ていくばかりなので、それが怖くて消費が低迷する。いつまで生き延びるかわからないのに、今持っている貯金を使い果たしたら損だ」というタブー感が、ものすごく消費を低迷させている。それが結局は回り回って、個人の所得にも悪影響を及ぼしている。

もしこれが同じ高齢者同士で、みんなそれぞれにいくつか趣味を持っていて、その趣味のうち1つでは、仲間から授業料が取れる。他の分野では、やっぱり授業料を払う。そういうやりとりをすれば、一方的に出て行くだけじゃなくて、入ってくるカネもある。そういう心理のときのほうが、消費ははるかに活発化するだろう。

『米中地獄の道行き 大国主義の悲惨な末路』(増田 悦佐)より